

G3m上の不動化RNase A

Cat. No. NATE-1773

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

RNase AはRNAを切断するエンドヌクレアーゼであり、DNAは切断しません。RNase Aは、ピリミジンリボヌクレオチドを3'-隣接のリン酸ジエステル結合Py/pNで特異的に切断し、ヌクレオシド-2',3'-シクロホスフェートを中間生成物として形成します。G3m: 25 µg (2.5 Kunitz単位) RNase Aをデキストランに固定化したCRカラムごとに このG3mカラムは、アプリケーションごとに少なくとも200 µgのRNAを消化します。Nr. 5 保存バッファ: 50 mM Tris/HCl, pH 7.5 Nr. 5 反洗バッファ: 50 mM Tris/HCl, pH 7.5 (1% SDSでも活性) Nr. 6 洗淨バッファ: 50 mM Tris/HCl, 1 M NaCl, pH 7.5 カラムは保存バッファに提供されています。

別名

脾臓リボヌクレアーゼ; EC 3. 1. 27. 5; RNase; RNase I; RNase A; 脾臓RNase; リボヌクレアーゼI; エンドリボヌクレアーゼI; リボ核酸ホスファターゼ; アルカリ性リボヌクレアーゼ; リボヌクレアーゼ; 遺伝子S糖タンパク質; Ceratitis capitataアルカリ性リボヌクレアーゼ; SLSG糖タンパク質; 遺伝子S座位特異的糖タンパク質; S-遺伝子型関連糖タンパク質; リボヌクレオチド3'-ピリミジンオリゴヌクレオチドヒドラーゼ; 9001-99-4

製品情報

由来

牛脾臓

EC番号

EC 3. 1. 27. 5

プロトコル

1. 配送されたバッファを（各2ml以上）無菌の二重蒸留水で希釈します。1回のアプリケーションに必要なもの: 1 ml 10x 反洗バッファと9 ml 二重蒸留水 2 ml 5x 洗淨バッファと8 ml 二重蒸留水 1 ml 10x 保存バッファと9 ml 二重蒸留水 基質は反洗バッファに入れておく必要があります。2. CRカラムを10 mlの反洗バッファで平衡化します。10 mlの反洗バッファをシリンジに入れ、重力で反洗バッファをカラムを通して上部フィルターまで流します。バッファの流れが非常に遅い場合は、シリンジで力をかけてください。3. 反洗バッファ中の基質溶液をロードします。小さな体積 (< 70 µl): CRカラムをベンチトップ遠心分離機で5秒間回転させます (2000 rpmで十分です)。基質溶液がマトリックス材料に入るのを待ちます。大きな体積: 基質溶液をカラムを通して流します。流量: 最大70 µl/分 基質をカラム内に約1分間室温で保持します。基質を再度カラムに適用するか、長時間インキュベートすることで、より高い回転率が得られます。4. 製品溶液を溶出します。小さな体積 (< 70 µl): カラムから製品を遠心分離します。大きな体積: 基質をカラムを通して流し、残留溶液をマトリックスから遠心分離します。注意: 700ダルトン未満の分子は7 mlの反洗バッファで溶出する必要があります。カラムが乾燥しても害はありません。5. カラムを10 mlの洗淨バッファで洗淨します。6. カラムを10 mlの保存バッファで平衡化します。カラムを4°Cで保管します。CRカラムを凍結しないでください。

保管・発送情報

保存方法

4 °C